

アグリ ワーク ポイント



果樹林産センター 鈴木 大造

みかん
高品質果実の
安定生産を

1年で最も暑い時期

この時期は、1年の間で最も暑い時期を迎え、ミカンは果実肥大期を迎えます。今月も、品質向上や病害虫防除を行い、高品質果実の安定生産を心掛けましょう。また、体調には充分注意して作業してください。

着果管理

着果量の多い樹は、先月までに樹冠上部摘果や枝別全摘果を行いました。取り残した果実があるとせっかくの隔年結果防止効果が低下してしまいます。今月は、目残しが無いように手直し摘果を行い、加えて小玉果やスソ・フトコロ成り果、外観不良果を摘果します。

品質向上

①マルチ被覆
マルチ被覆は、糖度上昇や着色促進、チャノキイロアザミウマの忌避効果が期待できます。下図を参考に、園地の状態に合わせて被覆時期や被覆方法を選択しましょう。

方法	被覆時期	目的	条件	備考
全面マルチ	8月上旬～ 8月中旬	着色促進 糖度向上	耕土が深く 根群分布が 広い園地	乾燥しやすい 園地では横径 4cm時に実施
部分マルチ	8月下旬～ 9月上旬	着色促進	耕土が浅く 乾燥しやすい園地	

②フィガロン散布

1回目の散布から20日後に2回目の散布を行ってください。樹勢の低下している樹への散布は控えましょう。

- ・フィガロン乳剤 (2回目) 満開 70～110日後 3000倍 (収穫14日前まで)

③かん水

夏季の雨量が少ない場合、乾燥で樹勢低下や酸高のミカンになってしまう恐れがあります。朝方になっても葉が巻いている時は過乾燥なので、10aあたり3～5tを目安に夕方にかん水を行ってください。

病害虫防除

先月に引き続き、果皮強化を目的にバイカルティ1000倍を混用散布します。

8月上旬

- ・黒点病

エムダイファー水和剤 600倍 (60日～2回)

※展着剤のアピオンEを加用してください。

- ・チャノキイロアザミウマ・ミカンサビダニ

アグリメック 2000倍 (7日～3回)

- ・カイガラムシ類

スプラサイド乳剤 1500倍 (14日～4回)